

事務事業調書

平成27年度

事業No	492	課	土木課	係	道路建設係	起案者	都築博幸
						決裁者	杉浦互
事務事業名	生活道路新設改良事業				事業種別	施設整備	

1 事業概要

総合計画体系	3 自然と共生した環境づくり 3 道路・交通 1 道路 1 道路整備 3 生活道路			予算科目(会計)		一般会計		
				予算科目(款・項・目)		40-10-20		
				総合計画以外の計画				
				関連する総合計画の施策		3-3-1-1-3		
				性質区分	市の内部事務事業			
根拠法令	無							
法定受託事務	無							
公約・議会答弁	有	平成18年3月定例会（第1回）、平成18年3月建設常任委員会						
陳情・市民要望	有	町内要望						
実施方法	一部委託	委託先	民間企業					
実施期間	開始	平成元年度	経過	26年目	終了		期間	
求める成果 (目的)	誰(受益者)が	生活道路が			～になる	整備される		
事務事業の内容	町内会の土木事業要望に対応した生活道路の環境改善を実施します。 町内会要望による生活道路の道路側溝等の新設、改良工事を実施します。 町内会要望による生活道路の拡幅工事を実施します。							
改善・対策の履歴	【平成26年度】建設副産物（コンクリート、アスファルト等）のリサイクルを推進することにより、コストを縮減し、環境への負荷を低減しました。							

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項 目	平成24年度	平成25年度	平成26年度		平成27年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	298,042	331,407	392,985	423,218	426,582
財源計	286,072	314,712	375,975	406,208	405,540
財源の内訳	国庫支出金	0	0	3,696	4,950
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	286,072	314,712	375,975	402,512
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費 (従事職員数)	11,970 (1.90)	16,695 (2.65)	17,010 (2.70)	17,010 (2.70)	21,042 (3.34)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト			年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動1	活動名 (活動内容)	測量設計	見込	0.00	25.00	100.00	189.00
			実績	0.00	60.00	100.00	
	指標名 (単位)	測量設計委託延長(m)	活動の総事業費(千円)	10,151	12,523	11,839	
			活動にかかるコスト(千円)	0.00	208.72	118.39	
活動2	活動名 (活動内容)	用地買収、移転交渉	見込	47.00	0.00	237.00	165.00
			実績	133.00	7.00	499.00	
	指標名 (単位)	用地買収面積(m ²)	活動の総事業費(千円)	13,427	3,017	28,075	
			活動にかかるコスト(千円)	100.95	431.00	56.26	
活動3	活動名 (活動内容)	工事施工	見込	210.00	0.00	0.00	212.00
			実績	210.00	0.00	0.00	
	指標名 (単位)	整備延長(m)	活動の総事業費(千円)	272,715	311,870	378,772	
			活動にかかるコスト(千円)	1,298.64	0.00	0.00	

4 成果指標と実績の推移				年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果1	指標名(単位)			目標	97.50	94.21	85.91	91.54
	道路整備率(%)＝道路整備済延長(m)／道路整備延長(m)(%)			実績	97.50	94.21	85.91	
	目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	達成	達成	
				目標				
成果2				実績				
	目標達成年度	目標成果指標値		達成状況				

5 成果 1、2 以外の成果	
成果	道路工事を円滑に進めるため、沿線住民への工事説明・調整及び関係機関と調整しました。

6 各活動にかかるコストと成果の分析	
内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	活動① 路線ごとの測量設計内容が異なるため単位コストに差異が生じました。 活動② 路線ごとの用地価格および補償内容が異なるため単位コストに差異が生じました。 活動③ 路線ごとの整備内容が異なるため単位コストに差異が生じました。 これは、年度ごとに道路整備の事業内容が異なることが要因であるといえます。
成果	沿線住民及び関係機関との調整により工事を予定どおり完成することができました。

7 所属長の改善案
コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
道路整備工事を進めるにあたり、コスト縮減、環境への配慮、沿線住民及び関係機関との調整に努めます。 事業を進めるため、地元町内会に沿線地権者の合意形成を図っていただき、整備を行います。

8 方向性	
必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	道路は、市民の生活に密着した公共施設です。道路整備が不十分な場合、地域住民の円滑な移動を妨げるだけでなく、緊急車両等の活動および交通の安全にも影響します。日常生活の安全性、利便性を確保するため、道路整備は必要です。